

高成長インド・ 中型株式ファンド

【運用報告書(全体版)】

第29作成期 (2025年8月28日から2026年2月27日まで)

第 57 期 / 第 58 期

第57期：決算日 2025年11月27日

第58期：決算日 2026年2月27日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2011年8月31日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コタック・ファンズ-インドア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX) インドの市場で上場または取引されている株式 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■インドの中型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■インドの代表的な総合金融グループの一つであるコタック・マヒンドラ・グループが実質的な運用を行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年4回（原則として毎年2月、5月、8月、11月の27日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

高成長インド・中型株式ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
49期 (2023年11月27日)	12,037	200	5.7	0.0	97.0	232,152
50期 (2024年2月27日)	13,271	200	11.9	0.0	96.2	247,279
51期 (2024年5月27日)	14,588	200	11.4	0.0	96.1	260,701
52期 (2024年8月27日)	14,484	200	0.7	0.0	96.8	245,877
53期 (2024年11月27日)	14,922	200	4.4	0.0	96.9	235,557
54期 (2025年2月27日)	12,250	200	△16.6	0.0	97.2	179,536
55期 (2025年5月27日)	12,879	200	6.8	0.0	96.2	177,550
56期 (2025年8月27日)	13,027	200	2.7	0.0	96.8	183,889
57期 (2025年11月27日)	13,819	200	7.6	0.0	96.3	189,182
58期 (2026年2月27日)	13,366	200	△1.8	0.0	96.5	178,438

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率	騰落率		
第57期	(期首) 2025年8月27日	円	%	%	%
	8月末	13,878	△1.1	0.0	96.3
	9月末	12,899	△1.0	0.0	97.7
	10月末	13,857	6.4	0.0	96.9
	(期末) 2025年11月27日	14,019	7.6	0.0	96.3
第58期	(期首) 2025年11月27日	13,819	—	0.0	96.3
	11月末	13,716	△0.7	0.0	95.8
	12月末	13,573	△1.8	0.0	96.2
	2026年1月末	12,679	△8.2	0.0	97.3
	(期末) 2026年2月27日	13,566	△1.8	0.0	96.5

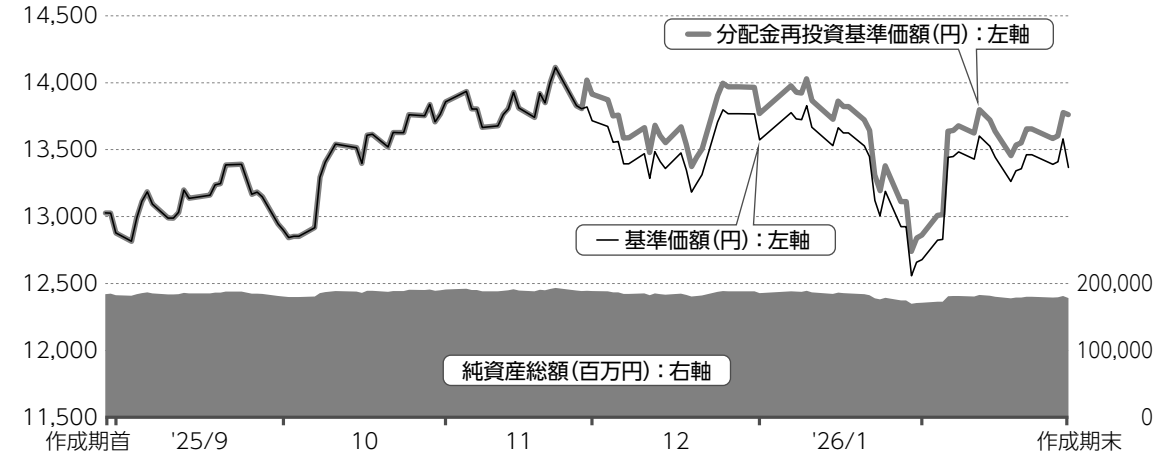
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年8月28日から2026年2月27日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	13,027円
作成期末	13,366円 (当作成期既払分配金400円(税引前))
騰落率	+5.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年8月28日から2026年2月27日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの取引所に上場している中型株式等に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 米国の追加関税などにより株価は上下に振られる局面はあったものの、期を通じて見ると、堅調なファンダメンタルズ(基礎的条件)を背景にインド中型株が上昇したこと
- 期を通じて見ると、インドルピーが円に対して上昇したこと

投資環境について(2025年8月28日から2026年2月27日まで)

インド株式市場は上昇しました。また期を通じて見ると、インドルピーは対円で上昇しました。

株式市場

インド株式市場は、上昇しました。米国とインドの通商協議に進展が見られず、高関税が課された状況が継続しましたが、インド政府がG S T (物品・サービス税)の減税など景気刺激的な政策を発表したことから、11月中旬にかけてインド株式市場は上昇しました。発表された経済指標も、堅調な経済成長とインフレ率の低下を示したことから、安心感が広がりました。その後は、2026年1月にインドルピーが急落したことなどで株式市場も調整する局面はあったものの、概ね横ばいの動きとなりました。

為替市場

米ドル・円は、1月は、日米通貨当局がレートチェック(為替介入の準備として主要銀行に対し為替市場の状況を確認する行為)実施との観測などから急速に米ドル安・円高となる局面もありましたが、概ね期を通じて米ドル高・円安基調となりました。また、米ドル・インドルピーも、米印の通商交渉に進展が見られなかったことや、外国人投資家の資金流出などにより、期を通じて米ドル高・インドルピー安となりました。

結果として、期を通じて見ると、インドルピーは円に対して上昇しました。

ポートフォリオについて(2025年8月28日から2026年2月27日まで)

当ファンド

期を通じて、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れました。

コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

●株式組入比率

期を通じて、中長期で魅力的と判断する銘柄を組み入れることで、株式組入比率を高位に維持しました。

●業種配分

期を通じて、金融、情報技術、ヘルスケアなどの組入比率を相対的に高く維持した一方、エネルギー、通信・サービス、公益などは低位の組み入れとしました。

など金融セクターの銘柄を中心に新規組入を行った一方、同セクターのPower Financeを全売却しました。

●個別銘柄

大手財閥グループのノンバンク企業であるタタ・キャピタル、証券取引所のBSE、資産運用会社であるICICI PRUDENTIAL AMC

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2025年8月28日から2026年2月27日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2025年8月28日から2026年2月27日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第57期	第58期
当期分配金	200	200
(対基準価額比率)	(1.43%)	(1.47%)
当期の収益	34	-
当期の収益以外	165	200
翌期繰越分配対象額	4,081	3,850

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れて運用を行います。

コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

今後のインド市場は、堅調な国内成長と高まる外部リスクが併存する局面が続くと見込まれます。原油価格の上昇や米国の通商政策、中東情勢の緊張などが、物価動向や為替、貿易収支を通じてマクロ環境に影響を与える可能性があり、短期的にはボラティリティ（変

動性)の高まりも想定されます。当ファンドは、中長期的な視点からはインドの構造的成長ストーリーは不変であると判断しており、内需主導で安定した成長が期待できる分野や、名目GDP(国内総生産)成長との連動性が高い企業群への投資を基本方針とします。財務健全性、収益の質、キャッシュフロー創出力を重視したボトムアップリサーチを一層強化し、調整局面を利用した割安・高品質銘柄への組み入れは機動的に対応します。

マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

高成長インド・中型株式ファンド

1万口当たりの費用明細 (2025年8月28日から2026年2月27日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	79円	0.585%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は13,428円です。
（投信会社）	(24)	(0.180)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(52)	(0.388)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(-)	(-)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	79	0.585	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

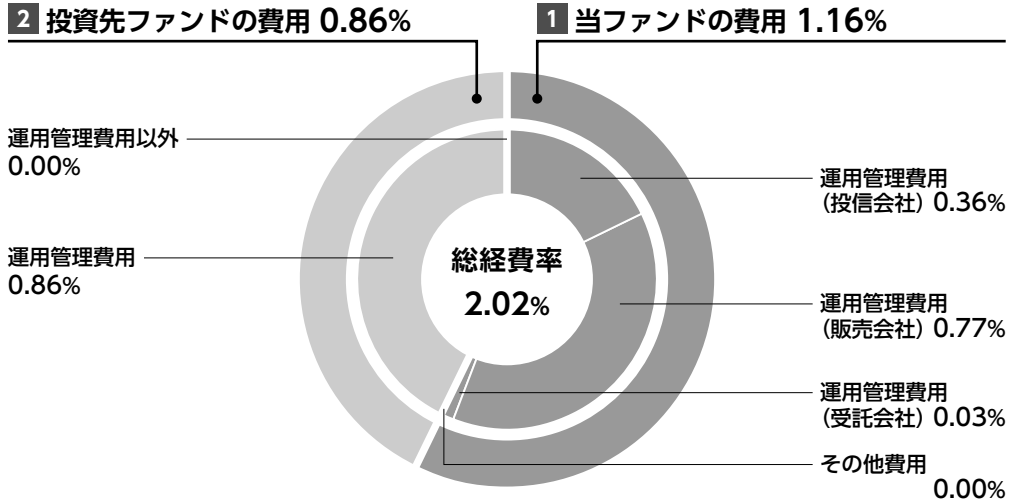
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)	2.02%
1 当ファンドの費用の比率	1.16%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

※ 1の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.02%です。

高成長インド・中型株式ファンド

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2025年8月28日から2026年2月27日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX)	54,141	4,128,000	272,484	20,171,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年8月28日から2026年2月27日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年8月28日から2026年2月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2026年2月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX)	2,498,290.4009	2,279,947.5973	172,235,379	96.5
合 計	2,498,290.4009	2,279,947.5973	172,235,379	96.5

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	作成期首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	17,711	17,711	17,760

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,207,872,716口です。

高成長インド・中型株式ファンド

■ 投資信託財産の構成

(2026年2月27日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 172,235,379	%
マネー・マーケット・マザーファンド	17,760	0.0
コール・ローン等、その他	9,948,406	5.5
投資信託財産総額	182,201,547	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年11月27日) (2026年2月27日)

項 目	第57期末	第58期末
(A) 資 産	193,053,747,914円	182,201,547,126円
コール・ローン等	10,792,782,188	9,948,406,631
投資証券(評価額)	182,243,228,028	172,235,379,772
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	17,737,698	17,760,723
(B) 負 債	3,871,556,873	3,763,109,190
未払収益分配金	2,737,959,818	2,669,980,166
未払解約金	585,615,819	558,353,616
未払信託報酬	547,623,736	534,417,908
その他未払費用	357,500	357,500
(C) 純資産総額(A-B)	189,182,191,041	178,438,437,936
元 本	136,897,990,917	133,499,008,322
次期繰越損益金	52,284,200,124	44,939,429,614
(D) 受益権総口数	136,897,990,917口	133,499,008,322口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,819円	13,366円

※当作成期における作成期元本額141,162,354,953円、作成期中追加設定元本額8,431,301,205円、作成期中一部解約元本額16,094,647,836円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2025年8月28日) (自2025年11月28日)
(自2025年11月27日) (自2026年2月27日)

項 目	第57期	第58期
(A) 配 当 等 収 益	489,300,305円	481,302,743円
受取配当金	481,687,167	472,003,009
受取利息	7,613,138	9,299,734
(B) 有価証券売買損益	13,473,970,951	△ 3,243,934,464
売 買 損	13,812,142,179	277,599,209
売 買 益	△ 338,171,228	△ 3,521,533,673
(C) 信 託 報 酬 等	△ 547,981,236	△ 534,775,408
(D) 当期損益金(A+B+C)	13,415,290,020	△ 3,297,407,129
(E) 前期繰越損益金	24,886,850,489	33,797,730,186
(F) 追加信託差損益金	16,720,019,433	17,109,086,723
(配当等相当額)	(16,265,077,212)	(16,864,181,919)
(売買損益相当額)	(454,942,221)	(244,904,804)
(G) 合 計 (D+E+F)	55,022,159,942	47,609,409,780
(H) 収 益 分 配 金	△ 2,737,959,818	△ 2,669,980,166
次期繰越損益金(G+H)	52,284,200,124	44,939,429,614
追加信託差損益金	16,720,019,433	17,109,086,723
(配当等相当額)	(16,265,077,291)	(16,864,181,986)
(売買損益相当額)	(454,942,142)	(244,904,737)
分配準備積立金	39,152,658,165	34,535,230,707
繰 越 損 益 金	△ 3,588,477,474	△ 6,704,887,816

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 ※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
 ※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 ※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第57期	第58期
(a) 経費控除後の配当等収益	470,139,067円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	16,720,019,433	16,864,181,986
(d) 分配準備積立金	41,420,478,916	37,205,210,873
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	58,610,637,416	54,069,392,859
1万口当たり当期分配対象額	4,281.34	4,050.17
(f) 分配金	2,737,959,818	2,669,980,166
1万口当たり分配金	200	200

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第57期	第58期
		200円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

高成長インド・中型株式ファンド

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）								
形態	ルクセンブルグ籍会社型投資信託（円建て）								
主要投資対象*	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。								
運用の基本方針*	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。								
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 								
配分方針	毎年2月、5月、8月、11月の10日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。								
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>運用報酬</td> <td>年0.75%程度</td> </tr> <tr> <td>管理費用</td> <td>年0.05%程度</td> </tr> <tr> <td>保管費用</td> <td>年0.04%程度</td> </tr> <tr> <td>事務代行費用</td> <td>年0.05%程度</td> </tr> </table> <p>※また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の各料率を上回ることがあります。</p>	運用報酬	年0.75%程度	管理費用	年0.05%程度	保管費用	年0.04%程度	事務代行費用	年0.05%程度
運用報酬	年0.75%程度								
管理費用	年0.05%程度								
保管費用	年0.04%程度								
事務代行費用	年0.05%程度								
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>								
申込手数料	ありません。								
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却額の差額が、ファンドの時価総額に対して一定の割合を超過する場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整され、ファンドの基準価額に反映されることがあります。								
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）								
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。								

*従来、「インド・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」への投資を通じてインドの中型株式等に投資する形態を取っていましたが、インドとモーリシャスの租税条約改正を受け、2025年9月現在、新規投資は「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」が直接インドの中型株式等に投資する方針となっています。

高成長インド・中型株式ファンド

(コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX) を通じて保有)

ファンド名	インディア・ミッドキャップ (モーリシャス) リミテッド
形態	モーリシャス籍会社型投資信託 (米ドル建て)
主要投資対象	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
運用の基本方針	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ●同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。
分配方針	分配は行いません。
運用管理費用	ありません。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント (シンガポール)
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

*インディア・ミッドキャップ (モーリシャス) リミテッドは、保有株式がすべて売却された後に清算される予定です。

高成長インド・中型株式ファンド

以下には、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」をシェアクラスとして含む「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益計算書 (2024年12月31日に終了した期間)

(単位：米ドル)

収益	
配当収益(源泉税控除後)	24,829,395
銀行預金受取利息	3,242,140
収益合計	<u>28,071,535</u>
費用	
投資運用報酬	35,009,530
管理事務代行・保管報酬	1,457,653
監査報酬および専門家報酬	716,162
管理会社報酬	1,326,383
年次税	1,685,000
取引手数料	32,758
役員報酬	28,274
その他費用	112,301
費用合計	<u>40,368,061</u>
投資純損益	<u>(12,296,526)</u>
実現純損益：	
- 投資ポートフォリオ	565,847,507
- 先物契約	2,781,713
- 外国為替取引	(55,681,383)
- キャピタル・ゲイン税	(161,456,064)
実現純損益	<u>351,491,773</u>
未実現損益の純変動額：	
- 投資ポートフォリオ	408,363,233
- 先物契約	(264,081)
- 外国為替取引	(167,896)
未実現損益の純変動額	<u>407,931,256</u>
営業損益	<u>747,126,503</u>

高成長インド・中型株式ファンド

■ 投資明細表(2024年12月31日現在)

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産構成比 (%)
	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品		
	株式		
	インド		
1,000,000	Alkem Laboratories	65,806,979	1.68
1,540,000	Apollo Hospitals Enterprise	131,246,944	3.36
9,163,867	Apollo Tyres	56,666,389	1.45
13,212,733	Ashok Leyland	34,030,166	0.87
329,545	Atul	26,790,676	0.69
5,300,000	AU Small Finance Bank	34,612,119	0.89
2,200,000	Axis Bank	27,359,790	0.70
1,626,721	Balkrishna Industries	55,294,738	1.41
2,956,719	Bharti Hexacom	50,315,595	1.29
6,175,745	Birlasoft	40,421,419	1.03
4,478,815	BrainBees Solutions	34,111,973	0.87
4,967,314	Brigade Enterprises	72,119,974	1.84
3,955,799	Carborundum Universal	59,127,326	1.51
897,590	Cello World	7,932,971	0.20
4,450,000	Cholamandalam Investment & Finance	61,643,773	1.58
14,600,000	City Union Bank	29,388,442	0.75
3,376,377	Container Corp. Of India	31,077,063	0.79
1,545,328	Coromandel International	33,933,589	0.87
11,700,000	Crompton Greaves Consumer Electricals	54,090,933	1.38
2,916,585	Cummins India	111,536,274	2.85
7,086,413	Dabur India	41,965,968	1.07
609,650	Dixon Technologies India	127,725,102	3.27
3,485,560	Emami	24,458,463	0.63
6,499,158	Exide Industries	31,621,834	0.81
25,500,000	Federal Bank	59,576,697	1.52
9,559,198	Fortis Healthcare	80,375,981	2.06

高成長インド・中型株式ファンド

株数/額面	銘柄名	時価 (単位: 米ドル)	純資産構成比 (%)
	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品		
	株式(続き)		
	インド(続き)		
1,979,148	GE Vernova T&D India	47,989,643	1.23
60,425	Honeywell Automation India	29,612,432	0.76
3,405,277	Ipeca Laboratories	67,427,368	1.72
3,053,986	Jindal Steel & Power	33,200,114	0.85
1,061,482	JK Cement	56,976,895	1.46
3,917,537	JK Tyre & Industries	17,779,635	0.45
5,966,565	Jubilant Foodworks	50,046,317	1.28
2,876,612	Kajaria Ceramics	38,941,153	1.00
104,451	KEI Industries	5,412,907	0.14
7,471,471	Laurus Labs	52,598,109	1.35
3,282,361	Mahindra Lifespace Developers	17,770,470	0.45
2,084,881	Mankind Pharma	70,145,028	1.79
4,585,812	Max Financial Services	59,665,773	1.53
10,331,746	Max Healthcare Institute	136,145,531	3.48
2,007,437	Metro Brands	28,532,629	0.73
7,273,816	Minda	41,588,938	1.06
31,028,419	Motherson Sumi Wiring India	21,107,842	0.54
2,150,000	Mphasis	71,502,176	1.83
9,000	MRF	13,732,967	0.35
416,445	Navin Fluorine International	15,788,549	0.40
1,900,000	Obero Realty	51,299,168	1.31
4,200,000	PB Fintech	103,456,505	2.65
1,683,756	Persistent Systems	127,004,715	3.25
924,118	PI Industries	39,783,624	1.02
13,137,301	Power Finance	68,822,654	1.76
242,798	Premier Energies	3,837,407	0.10

高成長インド・中型株式ファンド

株数/額面	銘柄名	時価 (単位:米ドル)	純資産構成比 (%)
	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品		
	株式(続き)		
	インド(続き)		
1,154,530	Rolex Rings	24,803,937	0.63
549,617	SAI Life Sciences	4,822,570	0.12
46,277,158	Samvardhana Motherson International	84,389,428	2.16
3,239,994	Sansera Engineering	56,383,181	1.44
11,539,165	Sapphire Foods India	44,411,212	1.14
1,678,963	Schaeffler India	66,791,791	1.71
2,219,147	Sheela Foam	25,701,798	0.66
4,370,000	Shriram Finance	147,473,622	3.77
580,000	SKF India	30,339,191	0.78
1,950,000	SRF	50,973,894	1.30
2,779,488	Sundram Fasteners	34,387,895	0.88
1,388,967	Supreme Industries	76,261,163	1.95
342,384	Swiggy	2,163,183	0.06
4,075,000	Syngene International	40,860,666	1.04
4,777,737	Tech Mahindra	95,217,110	2.43
1,681,733	Thermax	79,355,011	2.03
1,543,797	Torrent Pharmaceuticals	60,589,693	1.55
3,128,636	TVS Motor	86,554,818	2.21
1,760,000	United Breweries	41,876,128	1.07
4,248,191	United Spirits	80,656,704	2.06
2,176,579	Vedant Fashions	32,787,562	0.84
6,453,338	V-Guard Industries	31,847,397	0.81
3,250,000	Voltas	67,949,628	1.74
50,320,000	Zomato	163,427,957	4.18
	株式合計	4,083,425,266	104.42

高成長インド・中型株式ファンド

	時価 (単位：米ドル)	純資産構成比 (%)
公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品合計	4,083,425,266	104.42
投資合計	4,083,425,266	104.42
その他純資産および負債	(172,757,172)	(4.42)
純資産価値	3,910,668,094	100.00

以下には、「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書 (2024年12月31日に終了した期間)

(単位：米ドル)

収益	
配当収益	1,177,715
為替差益	4,449
損益を通じて公正価値で測定される金融資産からの純損益	30,698,937
その他収益	83,257
収益合計	<u>31,964,358</u>
費用	
管理事務代行および保管報酬	29,872
監査報酬	9,000
営業費用合計	<u>38,872</u>
税引前損益	31,925,486
法人税等	(778,746)
償還可能普通株式保有者に帰属する純資産の増減額	<u>31,146,740</u>

マネー・マーケット・マザーファンド

第14期 (2024年3月2日から2025年3月3日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
10期 (2021年3月1日)	10,002	△0.1	75.9	76
11期 (2022年3月1日)	9,994	△0.1	76.0	76
12期 (2023年3月1日)	9,991	△0.0	74.7	76
13期 (2024年3月1日)	9,986	△0.1	74.7	76
14期 (2025年3月3日)	9,987	0.0	98.2	1,206

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

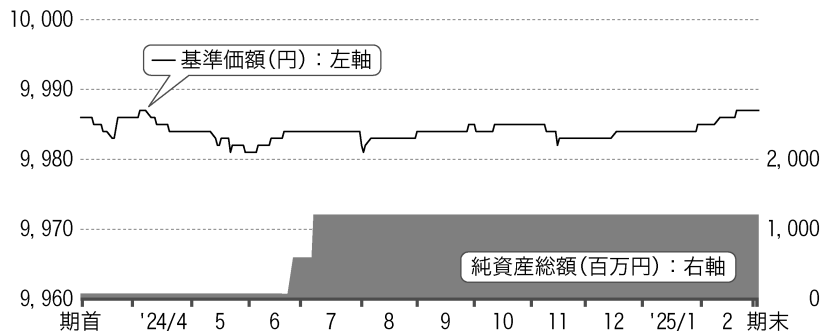
年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
(期首) 2024年3月1日	円 9,986	% -	% 74.7
3月末	9,986	0.0	74.6
4月末	9,984	△0.0	74.6
5月末	9,981	△0.1	74.5
6月末	9,984	△0.0	97.0
7月末	9,982	△0.0	98.5
8月末	9,984	△0.0	98.6
9月末	9,985	△0.0	98.4
10月末	9,985	△0.0	98.4
11月末	9,983	△0.0	98.4
12月末	9,984	△0.0	98.2
2025年1月末	9,985	△0.0	98.2
2月末	9,987	0.0	98.2
(期末) 2025年3月3日	9,987	0.0	98.2

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2024年3月2日から2025年3月3日まで)

基準価額等の推移



期首	9,986円
期末	9,987円
騰落率	+0.0%

▶ 基準価額の主な変動要因 (2024年3月2日から2025年3月3日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

上昇要因

・日銀が2024年3月にマイナス金利政策を解除し、7月や2025年1月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇したこと

▶ 投資環境について (2024年3月2日から2025年3月3日まで)

短期金利は上昇しました。

円安進行などの影響から物価上昇率が高止まりし、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+2%以上での推移となりました。日銀は物価目標の実現が見通せる状況に至ったと判断し、2024年3月に開催された金融政策決定会合で、日銀当座預金付利金利を0.1%に引き上げることで無担保コール翌日物金利を0~0.1%程度で推移するよう促すことを決定しました。さらに、7月の金融政策決定会合で追加利上げを決定し、無担保コール翌日物の誘導目標を0.25%

程度としました。2025年1月の金融政策決定会合でも追加利上げを決定し、無担保コール翌日物の誘導目標を0.50%程度まで引き上げました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初にマイナス圏で始まった後、日銀によるマイナス金利政策解除後はプラス圏に上昇しました。また、7月の追加利上げ後には利回りはさらに上昇しました。その後は、日銀の資金供給オペの担保として国庫短期証券へのニーズが強まる一方、発行額が段階的に減額されたことから、利回りの上昇幅が縮小しました。しかし、11月以降は追加利上げ観測が高まり、実際に日銀が1月に追加利上げを決定したことから、期末にかけて利回りは上昇基調となりました。

▶ ポートフォリオについて (2024年3月2日から2025年3月3日まで)

残存1年3ヵ月までの円建ての公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、短期公社債や短期金融商品の利回りがプラスに転じたことから、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2024年3月2日から2025年3月3日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

② 今後の運用方針

国内景気は、賃金上昇による消費の下支えや堅調な設備投資意欲、海外経済の底堅さを背景に、緩やかな成長軌道が続く見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、コストプッシュ圧力の減衰が見込まれる一方で賃金上昇に伴いサービス価格が上昇することにより、+2%程度の伸び率を維持できる見通しです。物価安定の目標達成が視野に入り、上振れリスクも意識される中で日銀が利上げを継続する姿勢を示していることは金利の上昇要因ですが、短期市場での根強い資金運用ニーズが金利上昇を抑制する見込みです。

引き続き残存1年3ヵ月までの円建ての公社債および短期公社債で構築したポートフォリオを維持し、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.000	

期中の平均基準価額は9,984円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 4,580,315	千円 — (3,425,000)
	特殊債証券	—	— (28,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
			%			%
公社債	百万円 4,580	百万円 11	% 0.3	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当該ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2025年3月3日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,185,400	1,184,611	98.2	—	—	—	98.2
	(1,185,400)	(1,184,611)	(98.2)	(—)	(—)	(—)	(98.2)
合計	1,185,400	1,184,611	98.2	—	—	—	98.2
	(1,185,400)	(1,184,611)	(98.2)	(—)	(—)	(—)	(98.2)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄	期 末			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	1226国庫短期証券	—	14,000	13,994	2025/04/21
	1286国庫短期証券	—	1,132,000	1,131,315	2025/05/12
	144 5年国債	0.1000	14,000	13,988	2025/06/20
	1257国庫短期証券	—	13,400	13,366	2025/09/22
	1276国庫短期証券	—	12,000	11,947	2025/12/22
	小計	—	1,185,400	1,184,611	—
	合計	—	1,185,400	1,184,611	—

■ 投資信託財産の構成

(2025年3月3日現在)

項目	期	末
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,184,611	98.2
コール・ローン等、その他	21,710	1.8
投資信託財産総額	1,206,321	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年3月3日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,206,321,409円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	21,707,340
公 社 債 (評 価 額)	1,184,611,295
未 収 利 息	2,774
(B) 純 資 産 総 額 (A)	1,206,321,409
元 本	1,207,872,716
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,551,307
(C) 受 益 権 総 口 数	1,207,872,716口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B/C)	9,987円

※当期における期首元本額76,632,575円、期中追加設定元本額1,133,894,244円、期中一部解約元本額2,654,103円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブティックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブティックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(限定為替ヘッジ)	1,237,272円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	20,035円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	20,035円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジあり/年4回決算型)	20,035円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジなし/年4回決算型)	20,035円
トータルヘッジ用ファンドMUT1号<適格機関投資家限定>	1,133,814,104円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2024年3月2日 至2025年3月3日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	615,964円
受 取 利 息	616,135
支 払 利 息	△ 171
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 248,197
売 買 益	35,376
売 買 損	△ 283,573
(C) そ の 他 費 用 等	△ 187
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	367,580
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 109,083
(F) 解 約 差 損 益 金	4,440
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,814,244
(H) 合 計 (D + E + F + G)	△ 1,551,307
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 1,551,307

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。